日　時：１０月３０日（金）
　　１４：００～１４：５０
場　所：絵画室
授業者：峠　しげみ

第３学年Ｄ組　美術科学習指導案

（１）単元名　「魅力を伝えるパッケージ」

（２）ねらい

商品のよさや魅力を伝えるには、どんなパッケージがよいか考え、商品名の書体、イラスト、模様、配色、レイアウトなどを基にイメージを考えたり、アイデアをまとめたりして構想を練ることができる。

（３）本時における美術科で目指す生徒の姿

・主題をアイデアスケッチに表したり、どんなパッケージにするといいか考えたりする姿。
・商品のよさや魅力が伝わるように書体やイラスト、配色、レイアウトなどを考え、表現方法を選んで表現したり仲間と交流したりして試行錯誤する姿。

（４）展開（第４時／全１１時）

過程	学習活動	研究に関わって
導入 見通しをもつ 課題を解決する 自己の学びを振り返る	**○つくりたいパッケージの主題に合わせ、商品のよさや魅力が伝わるパッケージデザインのアイデアを考える。** ・「みたらしだんご」のよさが伝わるパッケージを考えたい。 ・「ひだとまと」の魅力（新鮮さ）が伝わる商品を開発してパッケージをつくりたい。 ・「ひだの漬物」を詰め合わせにして飛騨らしさと現代風を組み合わせたおしゃれなパッケージをつくりたい。 ・「たけのこの里」の新シリーズを作ってパッケージを新しくつくってみたい。 **○商品名の書体、イラスト、模様、配色、レイアウトなどが魅力を伝えるパッケージにつながる要素になることを確認する。** 商品の魅力が伝わるようなパッケージデザインを考えよう。 **○主題を基に各自が自分に合った方法で構想を練る。** A：思いついたことを色や形で絵に表したい場合 プリントやスケッチブックにアイデアスケッチをする。 鉛筆、色鉛筆、パステル、コンテ、アクリル絵の具 B：材料から発想して描きこみ、試してみたい場合 使いたい材料（ビニール袋、紙袋、箱、ペットボトル、カップなど）を写真に撮り、タブレット上で書き込む。 C：デジタルで文字入力、イラストを入れるなどして試したい場合 支援アプリ（メタ文字）でアイデアスケッチをする。 D：材料から発想して、直接描いて感じを確かめたい場合 使いたい材料（ビニール袋、紙袋、箱、ペットボトル、カップなど）に鉛筆、色鉛筆、マジック、アクリル絵の具などで描いて試してみる。 どんなパッケージデザインを考えたか振り返りをする。 **○主題に対してどんな取り組みをしたか振り返る。** ・「みだらしだんご」の魅力を伝えるためイラストと文字を組み合わせてしょうゆ味のおいしそうな感じが表現できた。書体を毛筆体で表したけど文字の大きさを大小ばらばらにした感じも試してみたい。 ・「ひだとまと」の書体をトマトのまるみがでるようにしたかったけど難しくてできなかった。タブレットで探して真似して描いてみたい。	**【研究内容1－③】** ・個に合った方法で追求ができるようスケッチやタブレット、絵の具や鉛筆など表現方法を選択できるようにする。 ・仲間と自由に交流や相談ができるよう班隊形で活動する。 ・仲間の商品名や主題を共有できるようタブレット上または掲示（TV 画面、掲示物）で示し、必要に応じて交流ができるようにする。 ・市販の商品パッケージ、材料、用具の準備をして主題表現につながる環境づくりをする。 **【研究内容2－①】** ・机間巡視をして主題に対してどんな学びをしているか把握し、価値付けや支援を行う。 **【研究内容2－②】** ・主題をワークシートに位置付け主題に対して自分が取り組んだこと、困ったこと、解決するために何が必要かなどの振り返りができるようにする。 **【評価規準】** **思考・判断・表現** 主題を基に書体、イラスト、模様、配色、レイアウトなどに着目し、商品の魅力やよさが伝わるデザインを考えている。 **【評価方法】** アイデアスケッチ・行動観察